水辺のふるさと かつしか

2026.3-2026.5

自然環境レポーター通信



写真のタイトル： 目立たない花

撮影場所：小菅西スポーツ公園　　写真提供：Ryu

水辺のふるさとかつしか

目　次

１．55 種の動植物調査結果　・・・・・・　Ｐ２～５

２．自　由　レ　ポ　ー　ト　・・・・・・　Ｐ６～18

３．季　節　の　写　真　集　・・・・・・　Ｐ19～21

４．魚　か　ら　の　便　り　・・・・・・　Ｐ22～24

５．環境課からのお知らせ　・・・・・・　Ｐ25～28

担当編集の
ひとコト



こんにちは。環境課自然環境係の津澤と申します。

このたび、自然環境レポーターの担当を務めさせていただくこととなりました。

地域における貴重な自然環境の現状を丁寧に把握し、その魅力や課題について分かりやすく発信していくことは、大変重要な役割であると認識しております。

今後は、現地での観察や皆様からの情報を大切にしながら、季節ごとの変化や身近な自然の姿を的確にお伝えするとともに、多くの方々に自然環境への関心と理解を深めていただけるよう努めてまいります。

また、活動を通じて得られた知見を共有し、自然環境の保全と活用の双方に寄与できるよう取り組んでまいります。

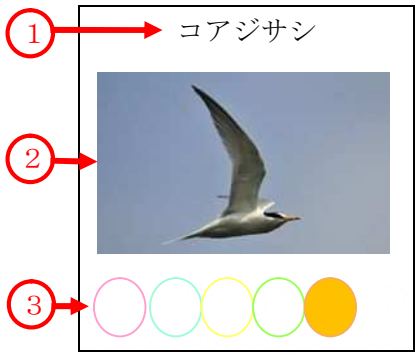
引き続き、皆様のご協力をいただきながら、着実に取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

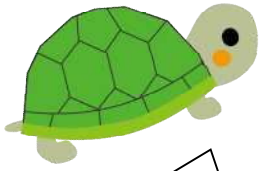
環境課自然環境係　津澤

５５種の動植物
調査結果（６～８月）

【次ページの見方】

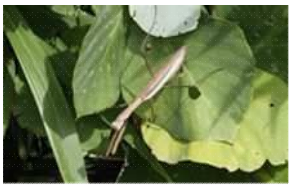
① 名前（赤字は外来種）
② 写真
③ 発見された調査区
（調査区ごとの色で塗り潰し）



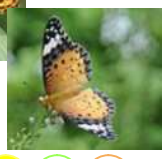
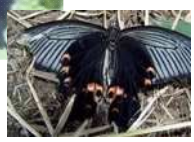


在来種のコアジサシが
調査区５で発見されたと
分かるね！

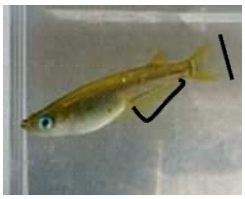
調査区 1 調査区 2 調査区 3 調査区 4 調査区 5

コアジサシ	ウグイス	ギンヤンマ	トノサマバッタ
			
ツバメ	コサギ	アキアカネ	クマゼミ
			
オオヨシキリ	カワセミ	オオカマキリ	アブラゼミ
			
コガモ	コゲラ	エンマコオロギ	ツクツクボウシ
			
ツグミ	シジュウカラ	カンタン	ミンミンゼミ
			

調査区 1 調査区 2 調査区 3 調査区 4 調査区 5

ニイニイゼミ 	テングチョウ 	ナガミヒナゲシ 	セリ 
ヤマトタマムシ 	ツマグロヒョウモン  ←雄 雌→ 	シロツメクサ 	オオバコ 
ナガサキアゲハ 	アカボシゴマダラ 	スズメノエンドウ 	オオキンケイギク 
クロアゲハ  ←表 裏→ 	アカメガシワ 	イモカタバミ 	カントウヨメナ 
ナミアゲハ 	スギナ  ツクシ ↓	アレチウリ  果実 ↓	カントウタンポポ  反り返らない→

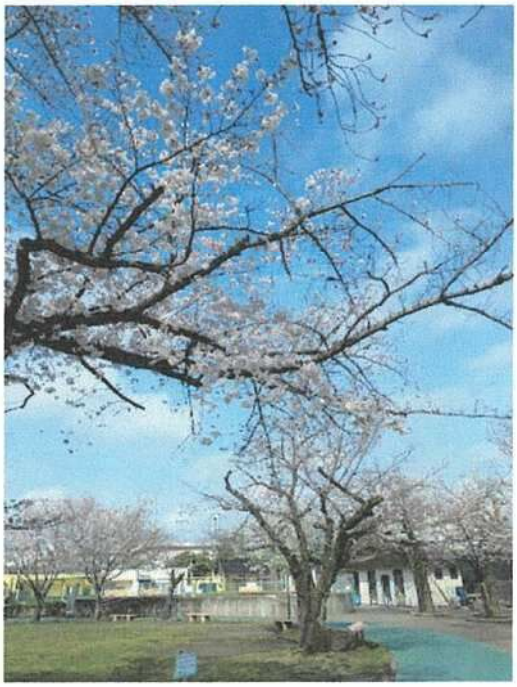
調査区 1 調査区 2 調査区 3 調査区 4 調査区 5

ツユクサ 	ミシシッピアカミミガメ 	コガネグモ 
ジュズダマ 	ニホンカナヘビ 	ジョロウグモ 
ススキ 	ニホンアマガエル 	メダカ  ←カダヤシ激似注意 メダカの特徴
アライグマ 	ニホンアカガエル 	ブルーギル 
ハクビシン 	ウシガエル 	ベンケイガニ 

花より延寿

調査区３　　還暦過ぎた、神山隆敬

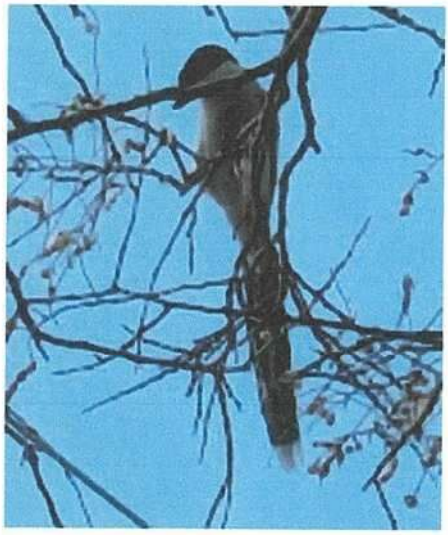
３月 28 日（土）昨夜、雨も降り今朝の天気晴れ、さっぱりとした気持ちで、朝、曳舟川親水公園で歩き桜を見て歩いていると、一本一本の桜の咲き方を見ていて、曳舟十三橋まで行ってみると、当然ながら『上千葉砂原公園』に行って、桜を見たくなり、足は『上千葉砂原公園』に向いていました。



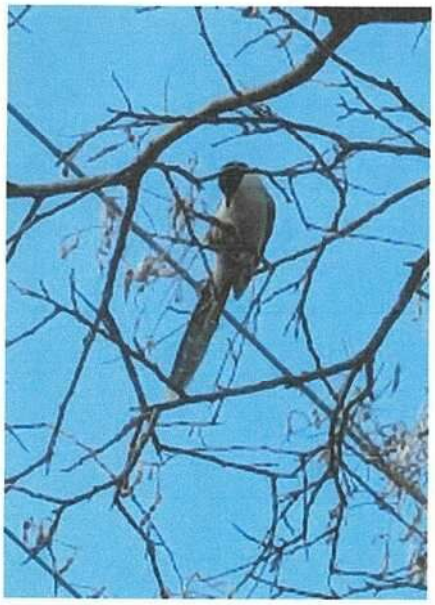
『上千葉砂原公園』で３分咲きから７分咲きの桜を見て行き、「あっ、これで『**オナガ**』が桜に止まっている所を写真に出来たら…」と思って、歩いていると「ギューイ、ギュイギュイ」と桜のいない、農産高校の方から**オナガ**の声が聞こえて来て、すかさず行ってみると、１羽の**オナガ**が電柱のてっぺんで鳴いており、観察していると飛び立ち、自分の上を飛んで行き、公園の桜の隣の木に止まり、「ここで、良い写真を撮れたら…」と、スマホを準備しましたが、しばらく場所を変

えたり、鳴いたり、木の枝をつついてはいましたが、その内に西の方へ飛び立ってしまいました。

「残念!!」と思いながら、止まった木が気になり、名札にて『**エンジュ**』と書いてあり、どのような木かとスマホで検索してみると、マメ科の木で「**延寿**」と漢字で書き、病魔を払う・長寿の木で、長寿、安産、出世の木として親しまれているとの事でした。



調べている内に、「ギューイ、ギュイギュイ」と木の方から聞こえて来て、見ると、何羽もの**オナガ**が、**エンジュ**に集まって来て、木の中であっちへこっちへと行っているかと思うと、**エンジュ**の実を食べていました。**オナガ**の数は２０羽以上いて、こんなに**オナガ**が食事しているのを見るのは初めての事でした。









オナガ以外の小鳥達には、桜の蜜を吸っている鳥達もいましたが、**オナガ**にとっては桜よりもしっかりとしたマメ科の**エンジュ**をしっかりと食べているのが、**オナガ**らしくて私個人としては、大変可愛らしいと感じる朝でした。

エンジュの木の下にあった

食べ残し⇒



葛飾区自然環境レポーター　自由レポート　２０２６年３～５月

氏名　　となりの母　　町名：鎌倉　　調査区：４

３月



キュウリグサ



スズメノエンドウとカラスノエンドウ

４月





４月

↑　鎌倉４丁目の道路脇で総苞の外片が反り返っていないタンポポを見ました。周囲に同じ株は無かった。

カントウタンポポ？と思い鎌倉野草園の方に見てもらったところ、群生していないので、セイヨウタンポポとの雑種だろうとのこと。

葛飾区自然環境レポーター　自由レポート（2026 年 3～5 月）

氏名：江戸川の小鮒	調査区：主に 4-23、5-24、5-26	町名：東金町

4 月 29 日（水）東金町 6 丁目自宅



写真①　昨年まで使われていたスズメの巣

自宅の外装工事の際に、外壁に取り付けられていた雨樋の最上部のカバーを外したところ、カバー内にぎっしりと敷き詰められた草が確認できました。こちらは毎年スズメがカバー内に作った巣材です。殆ど全てのカバー内に巣材が入っていて、よくもここまできつく敷き詰められたものだと感心するほど。幸いまだ子育ては始まっていなかったのですが、毎年このカバー内で子育てをしていたスズメのことを考えると、冬の間に外装工事ができていればとも思いました。これまで時折り巣からヒナが落ちて死んでいることがありました。スズメも減少傾向のようなので、またこのカバー取り付け後に子育てをしてくれれば何よりです。

5 月 16 日（土）東金町 1 丁目駐輪施設入口→東金町 3 丁目マンション入口



写真②　東金町1丁目駐輪施設



写真③　マンション入口のツバメの巣

・毎年ツバメが繁殖している東金町１丁目駐輪施設に今年もツバメがやってきて、巣を補強し終えて卵を温めて(?)いる様子を確認することができました（写真②）。オーナーさんの話では、時折カラスがやってきてヒナを狙う様子があると。カラスも生きていくため、子育てのために必死なのでしょう。オーナーさんは併設されているタバコ店の接客をしながら、東南アジアから渡ってきたツバメの子育てを温かく見守って下さっています。

・さらに、近隣を確認すると、ここ数年使用されていなかった東金町３丁目マンション入口の壁に補強された巣の中に親鳥が入っている様子が確認できました（写真③）。このマンション入口は付近の商店などの人通りが多いものの、ややカラスに狙われやすい場所で、以前にも営巣中に巣が何らかの理由（カラスに襲われた？）で崩落したことがあったので、今後の子育てが順調に進むかは予断を許しません。

5 月 19 日（火）東金町 3 丁目個人住宅 → 東金町 3 丁目駐輪施設

・ここ数年、毎日の通勤ルートにある東金町３丁目の個人住宅の玄関の方向にツバメの親鳥が入っていく様子を確認していたのですが、はっきりと営巣しているかどうかは確認できず、以前訪問させていただいた際にはお留守だったこともあり詳しい状況は把握できていませんでした。今回初めてこのお宅の住民の方からお話を聞かせていただくと同時に写真を撮らせていただくことができました（写真③A～B）。この調査日時点ですでに巣内にはヒナが５羽確認でき、親鳥も巣に戻ってヒナにエサを与えたかと思うとすぐに飛び立っていく様子を観察することができました。巣材が崩落しないように、かつカラスの被害に遭わないようきめ細かく様々な工夫と対策を取られていました。また、写真もたくさん撮られていて強いツバメ愛を感じさせてくれました。



写真③-A 防犯カメラ下に様々な工夫





写真③-B 園芸支柱によるカラス除け

・上述したお宅から数十メートル離れた駐輪施設には、かなり以前からツバメの巣はあったのですが、こちらはもう何年も営巣はしていませんでした。以前営巣していた様子を通勤時に確認していたのですが、ある日巣が崩落していることがありました。カラスやネコなどに襲われたのでしょうか。ところが先日この巣内に親鳥がいることが確認できたことからオーナー様の了解をいただき、こちらも巣の写真を撮らせていただきました（写真④）。順調に繁殖活動が進むことを祈るばかりです。



写真④ 東金町3丁目駐輪施設

以下は、昨年のレポートにも掲載した日本野鳥の会の記事です。ご参考まで。

日本野鳥の会が行った「ツバメの子育て状況調査」によると、「都市部では多くのヒナを育てられない」、「ツバメの子育て失敗要因のうち人間による巣の撤去が1割を超える」ことが判明。
市街地と都市郊外の巣立ちヒナ数のそれぞれの平均は、市街地は 3.86 羽、都市郊外は 4.27 で、市街地は4羽を下回っている。巣立ちヒナ数が4割を下回ると、将来的にツバメの生息数が減少していくという試算があり、10年間の調査結果では少子化傾向に変化がない。また、天敵を避けるために人の暮らしの中で命をつないできたツバメだが、人そのものが脅威となりつつある。
著者名：日本野鳥の会
サイト名：日本野鳥の会「ツバメと生きものたちのにぎわいを未来に伝えるために」
URL：https://www.wbsj.org/join/donation-and-fundraising/donation/kifu-2023smr/
参照年月日：令和８年６月８日

5月24日（日）水元公園

１８時過ぎに水元公園内のヨシが繁茂する場所へオオヨシキリの調査に行いました。公園内全域を調査できたわけではありませんが、小合溜周囲の水辺ではオオヨシキリの囀りは計８羽確認できました。公園全域ではメスを含めるとその倍くらいはいるのでしょうか。昨年は６月に入るまでなかなか囀りが確認できずかなり心配しましたが、今年は例年どおりかそれ以上に囀りがよく聞こえています。

それにしても５月下旬の夕暮れ時はまだ空が明るく何とも気持ちの良い時間です。そのせいか公園内には１８時３０分にもかかわらず、多くの人が思い思いに初夏の爽やかな夕景のなかで過ごす姿がみられました。また、菖蒲田には早くも菖蒲が咲き始めていました。



写真⑤ 小合溜のヨシ原内の樹上で囀るオオヨシキリ

大谷　悦子	町名：南水元	調査区：５－２８

【2026 年 3 月】

水元公園の樹木園に見事な唐子咲きのツバキが咲いていました。そのツバキの花が落ちた後の小さい薄黄色の雌蕊がかわいかったです。ニワトコはミニチュアのブロッコリーのような花芽をつけていました。ヒメリュウキンカは、最初は土手で見かけましたが、気をつけてみると、オニバス池のあたりやグリーンプラザなどあちこちに咲いていました。シロバナタンポポは今年も咲いていました。
ヤエムグラは、よく見ると、小さい黄色い花を付けていました。スズメノエンドウは今年は随分多いように思います。あちこちで群生していました。南水元の道端にアメリカオニアザミのロゼットがありました。白みがかった深緑で独特の色で、鋭い棘が出ていました。区に連絡して除去していただきました。



3/4　水元公園
ツバキ（唐子咲き）



3/4　水元公園
ツバキ（花の落ちた後）



3/4　水元公園
ニワトコ（花芽）



3/11　水元公園
ヒメリュウキンカ



3/15　水元公園
シロバナタンポポ



3/18　南水元
ヤエムグラ



3/20　南水元
スズメノエンドウ



3/18　南水元
アメリカオニアザミ

【2026 年 4 月】

水元公園水辺のさとのキンランは、今年も無事、花が咲きました。ほっとします。
写真のヤセウツボは 4/15 で、出始めのころです。今年はヤセウツボが多いようで、下旬には水辺のさとの中も外もいっぱいでていました。
ヒメウズが水辺のさとにたくさん咲いていました。昨年はオニバス池の周りに群生していましたが、そちらは今年は少なかったです。
タガラシは菖蒲園の水路のあたりに毎年出るようで、今年も咲いていました。



4/19　水元公園
キンラン



4/15　水元公園
ヤセウツボ



4/4　水元公園
ヒメウズ



4/12　水元公園
タガラシ

【2026 年 5 月】

去年からこの季節にきれいな鳴き声がするので、どんな鳥だろうと探していましたら、イソヒヨドリでした。腹のあたりが赤っぽいのが特徴です。

みどりと花のフェアを見ににいじゅくみらい公園に行きましたが、植栽より雑草の方が気になります。ウツボグサ、オオカワヂシャ、ヒナキキョウソウなどが咲いていました。

今年は青戸でオオキンケイギクを見ました。昨年見かけた東金町にも相変わらず咲いていました。

アメンボの影が水底に映り、ゆらゆらゆれるのが素敵でした。

水元公園で、今年特に多いな、と感じたのが、マツバウンランとハタケニラです。マツバウンランは菖蒲田のあたりに多かったのですが、菖蒲祭りで、除草されたようです。サイカチの蕾はかわいかったので、ぱちり。



5/8　南水元
イソヒヨドリ



5/24　にいじゅくみらい公園
ウツボグサ



5/24　にいじゅくみらい公園
オオカワヂシャ



5/16　青戸（6 号沿い）
オオキンケイギク



5/2　水元公園
アメンボ



5/9　水元公園
マツバウンラン



5/6　水元公園
ハタケニラ



5/6　水元公園
サイカチ（蕾）

以上

氏名　K･N	町名　東金町	調査区　5
（水元公園正面入口～養魚場入口間の指定種の植物と昆虫）鳥類は大橋周囲～小合溜　（種類 ･植物 ･蝶々 ･野鳥（令和 8年3月･4月･5月→月１回）		

種類	3月	4月	5月	種類	3月	4月	5月
セイヨウタンポポ	0	1500	20	サギ 類	1	2	2
シロツメクサ	0	0	13				
チョウ類	0	3	多数				

野鳥情報

① **3月初旬**、水元公園内の香利神社の裏庭で、サクラが咲き始めていた。花の蜜を吸う珍しい鳥に出会った。正確な種類は分からないが、これって野鳥？他の鳥はカメラを向けると、離れていてもすぐ飛び立つが、真下で撮っても知らぬふりだった。おかげでいい写真が撮れた。

植物情報

① セイヨウタンポポは4月上旬、一気に花数が増加した。

② **5月初旬**、観察地の歩道から公園内の盛り土に「白いものが多数見えた」近寄ってみると白い綿のようなふわふわした花？が落ちていたのだ。どこにその花が咲いているのか見渡すと、種類は不明だが木の一部に咲いていた。この景色も初めてのような気がするが、観察不足だったのだろう。







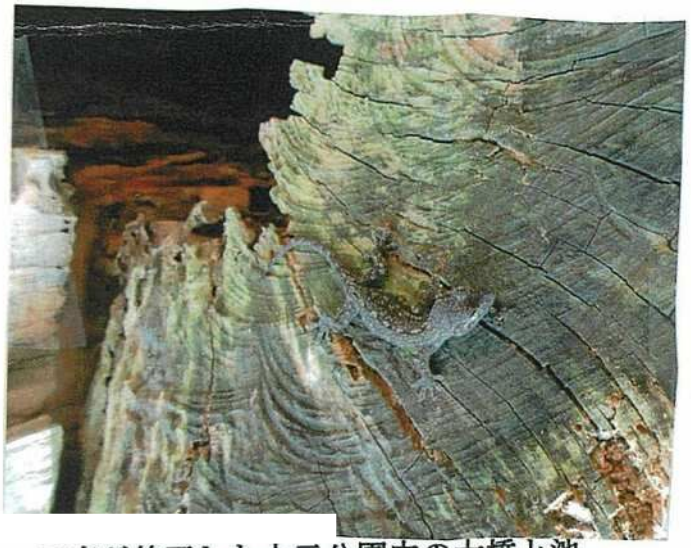


昆虫情報

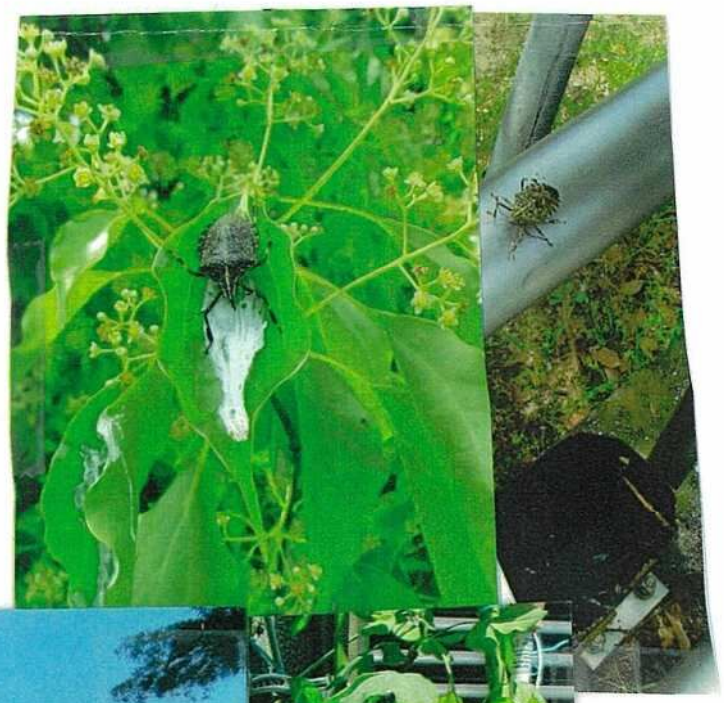
①
4月下旬の観察地でサクラの切り株を
のぞいたら突然「昆虫」が出てきた。
木の色に似ているので分りにくいが
「ヤモリ」の一種でしょう？

② カメムシ？
手元にある資料で種類を探すがはっきりしない。形はカメムシ系？
他の昆虫は余り見かけないので報告してみます。

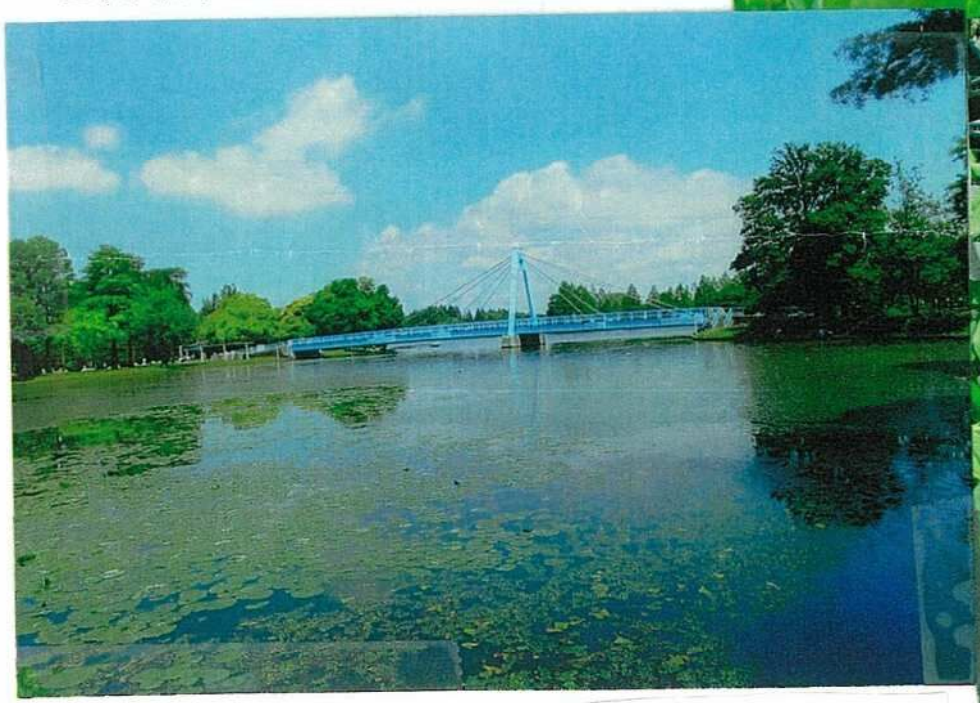
ヤモリ



カメムシ？



工事が終了した水元公園内の大橋と池





自宅に咲いた黄色のふじ

● 葛飾区自然環境レポーター　自由レポート ●	調査月	2026.03～2026.05	名前	むしあお

＜3月＞

●観察日：3/21

●調査区：5−26（水元公園）

暖かい日だったが、昆虫はまだあまり見つけられなかった。

ウグイスは声のみだが、地鳴きとぐぜり両方確認。

【鳥類】

ツグミ　ムクドリ　ヒヨドリ　ユリカモメ　オオバン　ハクセキレイ　カワウ　キジバト　アオジ　ハシブトガラス　ハシボソガラス

シジュウカラ　マガモ　カルガモ　ヒドリガモ　オカヨシガモ　コゲラ　モズ　コサギ　エナガ　シロハラ　など

【昆虫・クモ類】

ナミアゲハ　ヨコヅナサシガメ　クロヤマアリ　ナナホシテントウ　キタテハ　モンシロチョウ　オオカマキリ卵鞘　など

【植物】

オオイヌノフグリ　フラサバソウ　カントウタンポポ　アンズの花　など



シジュウカラがヨシの表面をはがしてカイガラムシを探していた



タンポポにとまるキタテハ



フラサバソウ

オオイヌノフグリとは違った趣でかわいい

●観察日：3/28

●調査区：5−28（南水元）

今年のツバメ初認。

＜４月＞

●観察日：4/25

●調査区：5-28（南水元）4−22（新宿）

中川に、今年もコアジサシやコチドリがきている。

＜５月＞

●観察日：5/3

●調査区：5−26（水元公園）

バードサンクチュアリの「オオタカ営巣しているので立ち止まらないでください」の注意書きがあるエリアで大きな声で話しながら双眼鏡を向けている人達がいた。注意書きに気づいていないわけないと思うがその行為で巣を放棄してしまう可能性があるため本当にやめてほしいと思う。

この日はイモムシのオンパレード。マイマイガの幼虫もたくさん見たが写真撮っていなかった。



ヨモギエダシャク？（違うかも）

枝になりきっています



オカモトトゲエダシャク

もっと体を丸めると鳥糞に擬態



チャイロキリガ

成虫は茶色だけど

幼虫はこのとおり色白。

季節の写真集（3~5 月）



「目立たない花」
Ryu 4/19 小菅西スポーツ公園

「春の紅葉」
R 4/19 小菅西スポーツ公園





「プール開きはまだか」
瑛ちゃん 4/14　柴又



「ナナホシテントウ」
瑛ちゃん　4 /15　金町



「アカマツ」
瑛ちゃん　5 /31　水元



「エンジュ、いただきま～す」　オナガ
神山 隆敬 3/29 上千葉砂原公園



「リンゴカミキリ」
むしあお　5/31　にいじゅくみらい公園

葛飾柴又新八水路　魚からの便り-345

	調査次数	347			備　考
	調査日	2026/4/5			
	地点	本流	新八水路	新八ワンド	
1	オイカワ	17 52-134			
2	オオクチバス	1 445			特定外来生物
3	ギンブナ		2 78―91		
4	ゲンゴロウブナ		1 100		
5	コクチバス	2 325-388			特定外来生物
6	ゴクラクハゼ	2 30-34			
7	スゴモロコ属雑種	8 43-69			
8	タイリクバラタナゴ		1 23	1 17	
9	ニゴイ	4 113-320			
10	ヌマチチブ	8 48-62			
11	ボラ	3 215-430	37 25-36	3 31-37	
	計	8種類45個体	4種類41個体	2種類4個体	

・上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小ー最大範囲（単位：mm）

・江戸川本流、新八水路、新八ワンドあわせて11種類90個体の魚類が採集されました。

・曇り、気温21.0℃、水温 本流15.9℃、新八水路18.0℃、新八ワンド16.8℃（15時00分頃測定）

「参考」江戸川の水位（観測所：千葉県市川市市川　市川根本排水機場江戸川側）
(10:00)1.85m (12:00)1.49m (14:00)1.42m

【参加者コメント】

・ヒバリとキジの声を聞きながらの調査になりました。ツバメも、今年はじめて見ました。水路にはカニが姿を見せていて、春だなぁと実感しました。
前日の雨のせいか、遊泳魚が少なく、本流で、期待されたアユどころか、小さなボラも採れませんでした。どこに行ってしまったのか。(KI)

・水路もワンドも、メダカとカダヤシ（駆除対象）が全く採れず。メダカには早く戻ってきてほしい。
ゴクラクハゼに似た黒っぽいのが採れ、別の種類を疑ったが、後日ゴクラクハゼと判定された。紛らわしい！！（SI）

【今後の調査日】　5月17日(日)　6月27日(土)　7月12日(日)　8月9日(日)　9月12日(土)
10月11日(日)

HP（ http://shigenori1.jimdoweb.com/ ）新八水路「自主生物調査団」【編集：一澤成典】

葛飾柴又新八水路　魚からの便り-346

	調査次数	348			備　考
	調査日	2026/5/17			
	地点	本流	新八水路	新八ワンド	
1	アシシロハゼ	3 39-58			
2	オイカワ	7 72-155			
3	カマツカ	5 95-122			
4	ギンブナ	1 380	2 22-24	3 30-33	
5	コイ	1 21	12 22-34	20 20-40	
6	コクチバス	5 112-194			特定外来生物
7	ゴクラクハゼ	2 65-81			
8	シモフリシマハゼ	1 55			
9	スゴモロコ属雑種	29 63-89			
10	スミウキゴリ	1 28	51 23-43	20 26-48	
11	ドジョウ		1 135	1 21	
12	ニゴイ	2 146-186			
13	ヌマチチブ	35 50-86	2 56-63		
14	ボラ	9 43-410	7 32-44		
15	マハゼ			1 44	
16	マルタ	1 178			
	計	14種類102個体	6種類75個体	5種類45個体	

・上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小ー最大範囲（単位：mm）

・江戸川本流、新八水路、新八ワンドあわせて16種類222個体の魚類が採集されました。

・晴れ、気温29.0℃、水温 本流24.1℃、新八水路23.2℃、新八ワンド26.1℃（14時00分頃定）

「参考」江戸川の水位（観測所：千葉県市川市市川　市川根本排水機場江戸川側）
(10:00)1.77m (12:00)1.77m (14:00)1.79m

【参加者コメント】

・小型のボラが、水面に口を出し、群れて泳いでいて、18節の網目を抜けるサイズ、とわかっていても、つい網を投げてしまう。コクチバスのサイズが小さくなっているのは、水位が高くて採れなかった？産卵期が終盤？不思議だ。(KI)

・初めての投網でしたが、周囲の方々が丁寧に指導して下さり、一日中夢中になって投げていました。翌日はしっかり筋肉痛になりましたが、ヌマチチブを捕獲することが出来て嬉しかったです。(AH)

・新八水路の工事前のお魚救助で見かけなかったドジョウのヌシ？がまた採れたようだった。工事のときはどこにかくれていたんだろう。(IS)

・一部のヌマチチブに鰓蓋や胸鰭がただれる病変が見られた。今後も注視が必要だ。
新八水路とワンドでコイとギンブナの未成魚が混じって多数採れたが、静水域である水路とワンドが彼らの繁殖に役立っていることは喜ばしい。
大きなドジョウは、これまで数回見られた雌ではなく雄だった（雌雄で胸鰭の形が異なる）。危なくスミウキゴリに間違いそうな21㍉の稚魚1尾が採れた。新八水路で繁殖したのかもしれない。（YK）

【今後の調査日】　6月27日(土)　7月12日(日)　8月9日(日)　9月12日(土)　10月11日(日)

HP（ http://shigenori1.jimdoweb.com/ ）新八水路「自主生物調査団」【編集：一澤成典】

葛飾柴又新八水路　魚類出現状況

No.	標準和名＼地点	調査次数	1-48	49-106	107−163	164−223	224−235	236−247	248～259	260～271	272～283	284～295	296～307	308～319	320−331	332−343	344	345	346	347	348
		年次	96-00	01-06	06/4−10	2011-15	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026				
		回数・日程	48回	58回	57回	60回	12回	12回	12回	12回	12回	12回	12回	12回	12回	12回	1.31	2.28	3.20	4.5	5.17
			本流	新八	本流	新八	ワンド	本流	新八	ワンド	本流	新八	ワンド

環境課からのお知らせ

★自然環境レポーターを募集します★

本区では、多くの方に自然や生きものへの興味を持ってもらうことを大切であると考えています。

自然環境レポーターの制度はそのような趣旨に基づいており、今まで自然観察等をされたことがない方でも気軽に楽しんでいただけるものになっています。

今後もこの制度をきっかけに、身近な自然や生きものに興味を持っていただける方々をますます増やしていきたいと考えております。

今年度の自然環境レポーターの**新規加入者募集**も始まります。この機会にぜひ、皆様のお友達や知人の方などを自然環境レポーター制度に誘っていただき、一緒に研修会に参加してみませんか？そして、環境レポートを友人・知人と相談しながら作成すると、レポーター活動もより楽しめるのではないでしょうか。

もし、ご紹介していただけるお友達や知人の方などいらっしゃいましたら、事務局までお知らせください。よろしくお願いいたします。

【申込期限：令和８年７月 31 日（金)】

★自然環境レポーターの更新時期です★

自然環境レポーターの任期は、９月１日から１年間です。現在のレポーターの皆様におかれましては、引き続き活動していただければ幸いです。意思確認の通知を郵送いたしますので、必ず二次元コード、または、電話でご連絡くださいますようお願いいたします。

ご新規様で興味のある方は、７月５日号の広報かつしかをご覧ください。

★自然環境レポーター委嘱式・研修会★

今年度は、令和８年９月５日（土）に立石地区センターで実施予定です。

詳細は、自然環境レポーターを継続または新規でお申込みいただいた方に別途ご案内します。

環境課からのお知らせ

★鳴く虫の女王「カンタン」と秋に鳴く虫を聴く会★

「鳴く虫の女王「カンタン」と秋に鳴く虫を聴く会」の実施を、以下のとおり区内のカンタンの里で予定しています。詳しくは、９月頃に掲載予定の広報かつしかをご覧ください。



【日時】令和８年９月 18 日（金）
【場所】西亀有せせらぎ公園（西亀有 1-10-１先）

【日時】令和８年 10 月２日（金）
【場所】青戸平和公園（青戸４-23-１）

★新ハ水路で魚類調査を行います★



【日時】８月９日（日）　９月 12 日（土）　10 月 11 日（日）
いずれも 10 時～16 時ごろ
【場所】江戸川河川敷　**※事前連絡をお願いします。**
【持ち物】着替え、昼食、飲み物 、首に巻くタオル、短くないソックス
詳しくは、ＨＰ（https://shigenori1.jimdoweb.com/）をご覧ください。

★綾瀬川で水辺環境調査を行います★

採取した生きものを展示して、その場で調査結果の概要を説明します。
直接会場へお越しください。　駐車場はありません。

【日時】令和８年 10 月 13 日（火）〈予備日 10 月 14 日（水)〉
11 時 30 分～12 時 00 分（調査報告）
【場所】綾瀬川（東四つ木避難橋付近）

環境課からのお知らせ

★自然環境調査報告書（５５種以外）★

自然環境レポーターの活動には、区内で見られる５５種以外の動植物についての調査報告も含まれています。ご報告いただいた中からいくつか紹介します。
〈見方〉◆動植物種名・調査月・調査場所（Ｐ２参照）・気が付いたことなど

◆ヘビイチゴ・５月・調査区５・実がついていた。

◆オオアレチノギク・４～５月・調査区３・２ｍ近くのもあった。

◆ルリタテハ・５月・調査区４・モッコウバラにとまっていた。

◆ハクセキレイ・３～４月・調査区４

≪お詫びと訂正≫

「水辺のふるさとかつしか」2025.12～2026.２（第 336 号）の P.１に誤りがありました。
担当編集のひとコト内の、
ハシブトガラスは「がーがー」、ハシボソガラスは「カーカー」と鳴くそうです。

正しくは、
ハシブトガラスは「かーかー」、ハシボソガラスは「がーがー」と鳴くそうです。

ここに深くお詫びし、訂正させていただきます。
※ホームページは差し替え済みです。

本号にご協力いただいた皆さま（敬称略）

有泉　桂子	石戸　雅彦	瑛ちゃん
江戸川の小鮒	大谷　悦子	神山　隆敬
下山田　隆	鈴木　園未	高橋　裕子
田村　ひろ子	となり	むしあお
ゆきひめ	K・N	Ryu
R	T・K	

自主生物調査団　（編集：一澤成典さん）

ありがとうございました！

「水辺のふるさとかつしか」 第 337 号
（葛飾区　自然環境レポーター通信第 289 号）
令和8年7月吉日　発行
葛飾区環境部環境課自然環境係
〒124－8555　葛飾区立石5－13－1
代表電話　(3695)1111
直通電話　(5654)8237
FAX　(5698)1538

▲区のホームページにも
掲載しています。
(URL)
https://www.city.katsushika.lg.jp/kurashi/1000062/1030304/1037174.html



「水辺のふるさとかつしか」の内容について、
お間違い等お気づきの点がありましたらお知らせください。